

第4回行政改革推進委員会 会議要約

- 日 時 平成29年11月20日(月) 午後1時30分～午後5時
- 会 場 村上市役所 5階 第5会議室
- 出席者 行政改革推進委員会委員 8名
総務課長、総務課参事、 人事管理室 3名

1 開 会 (午後1時30分 開会)

2 会長あいさつ

3 諮 問

- ・村上市行政評価における外部評価について

副市長あいさつ

これまでも市の行財政改革推進のため、様々なご意見等をいただいていることに対する謝辞。

平成29年8月7日付けで諮問させていただいた「行財政改革の推進について」、慎重にご審議いただき答申を受けました。そこでご指摘いただいたことは、「市民一人ひとりの幸せのため」、「次代への負担の軽減」を目標に行政運営を慎重に進めてもらいたいとのご意見でありました。現在本市は来年度予算編成時期にあり、委員の皆様からいただいた様々な意見を次年度の施策にも反映していきますよう意を用いて対応させていただきたいと考えております。

4 過去3年間の外部評価事業における経過報告(事務局説明)

5 外部評価について(事務局説明)

6 協 議

(1) 村上市行政評価における外部評価について

- ・事業ヒアリング及び評価協議

①ごみ・危険物等の収集【環境課】

- ・担当課(環境課)による事業・評価理由説明

【質疑応答】

委 員

ごみ収集事業者と話し合いを進めているとのことでしたが、ごみの分別が進むと市にどのようなメリットがありますか。

環境課

ごみの分別が進むと資源ごみが増え、その収集回数を増やすことにより、結果として可燃ごみの減量化が図られます。現状の課題は可燃ごみの中に占める紙ゴミの割合が多いことで、今後はこれを資源ごみとして収集しごみの減量化を図っていきたいと考えております。

ごみ収集事業者との話し合いについては、合併前から市町村で行ってきた収集回数、収集方法を統一してできないか協議を進めております。

委員

ごみの分別が進むと市の費用は減りますか。

環境課

市の経費は主にごみの収集運搬業務ですが、現状としては決められた収集回数による委託契約を結んでいるため、ごみの分別が進み可燃ごみが減っても直接的な経費は減りません。

委員

資源ごみの売却益が市の財源となっているのであれば、そのことを分かり易く市民に周知し分別を徹底していただき財源の確保に努める必要があるのではないかと。

環境課

環境課では、リサイクル率を向上させてごみの排出量を減らすことを目標にしており、これまで財源とは切り離して事業を推進しておりました。今後は、現在話し合いを進めております収集回数の変更等に向けて、それらについても触れていく必要があると感じました。ただし、資源ごみについては、各町内会で収集業者と直接契約して、その収益を町内会の財源としている場合や、スーパー等で実施している空き缶や古紙回収サービス等があり、それにより分別の推進が図られリサイクル率の向上に寄与していただいているという考え方もできますので、これらも有効利用しながらより良い事業の推進を目指していきたいと考えております。

委員

資源ごみの収集等について、民間ができることはなるべくお願いして、行政は行わなければならない最低限度を実施することで、市の負担が軽減されるのではないかと。具体的な事業として、現状は実現していないが、民間でやることのできる仕事と行政がやるべき仕事の分担について、どのような検討をされましたか。

環境課

基本的に一般廃棄物の収集運搬については、法律で行政がやることとなっておりますので、それを民間にお願いしてやってもらうことができない事業であります。

ただし現状は、資源ごみについては、各町内会で収集業者との直接契約により、その回収を行っている場合や、スーパー等で実施している空き缶や古紙回収サービス等があり、それら全てを行政で行う事は難しく、また、それにより3Rの推進に寄与していることから、当課としても大変ありがたく思っております。

委員

収集運搬業務については、行政が全てやることであり、民間へは一部業務を委託することしかできないということですか。

環境課

基本的にはそうですが、現在は環境への関心が高まってきており、民間も率先して事業に参加

していただいている状況です。

委員

村上市のごみ収集委託費について、市民一人当たりの負担相当額が約4,300円となっておりますが、この値は他の市町村と比較してどのような位置ですか。

環境課

少し前のデータですが、村上市のごみ収集委託費については、県内の20市と比較すると、平均よりは高かったと記憶しております。それは、村上市が非常に広範囲であることなどが要因となり、人数で割り返すと割高になると考えられます。

委員

具体的に経費を削減する方法はどのようなことが挙げられますか。

環境課

例えば、現在収集を行っているごみステーションは約1,300箇所ありますが、これを仮に半分にすると収集運搬の業務量が減りますので経費も低く抑えることができます。しかし現実には、高齢化が進んでいる中でこれを実現することは難しいと考えます。

委員

分別を心がけていても、紙ゴミの出し方やリサイクル可能な物であるかの判断等の細かいルールについては、まだ広く市民に浸透していない部分も多いと思いますが、ごみの分別を徹底してもらうための方策について何かしていますか。

環境課

まだ具体的な啓発等はしておりませんが、紙ゴミについては紙紐で縛って出してもらうことがネックとなりリサイクルが進んでいないのかなと考えており、今後の課題としては普段捨ててしまうような紙をどうやったら分別して出していただけるのかということにあると思っています。

現在紙ごみは、月1回収集を行っておりますが、今後はそれを増やす方向で検討しております。その際には、もう少し分かり易く簡単に出せる方法をご提案させていただき、リサイクル率の推進に繋げていきたいと考えております。

また、どこまでがリサイクルできる物か判断が難しいとのご意見もありましたが、やはり洗ってきれいになる物であれば当然分別していただきリサイクルに繋げてもらいたいと思いますが、油汚れがひどくきれいにならない物等については、分別が難しいと考えます。

委員

家庭では特に紙ゴミが多く、その処理方法等について苦慮しているところですが、例えば段ボールに入れて出すことができるようになればもう少し回収が増えるのではないかと。

環境課

例えば、いらなくなった封筒に不要な紙ゴミを入れたり、冊子に挟み込んで出したりする方法もありますので、今後、市報等で周知をして分別の推進を図りたいと考えております。

委 員

市民は、そういった方法で出したいが、それがいいのか悪いのかの判断がつかずにやっていない方も多いと思いますので、是非お願いしたい。

委 員

リサイクル率が上がると、市の財政にどのようなメリットがありますか。

環境課

市の主な経費は収集運搬に係る経費であるため、リサイクル率が上がっても直接的な経費の削減には繋がりませんが、資源ごみの回収量が増える事になりますので、その売却益により市の収入は増えることとなります。また、ごみの総量が減ることでごみ処理場に掛かる負荷が下がって延命化に繋がるとともに、焼却灰も減ってその処理に要する費用が少なくなります。

このようなメリットもありますが、環境課としてはいかにリサイクル率を上げて温室効果ガスを減らすかということを目指して取り組みを進めております。

委 員

リサイクルに関しても行政でやらないと出来ないのですか。民間で実際にやっているのに、行政もそれをやる必要はありますか。

環境課

一般家庭から廃棄物である空き缶を有価物として大型スーパー等に出して、そこで事業者が処理をすることは許可が不要で誰でも行う事が出来ます。仮に全ての空き缶がそのように処理されれば、市では回収をする必要がなくなり経費の削減に繋がりますが、現実的には困難であります。

また、一般家庭から排出される空き缶がそのように処理されない場合は、有価物ではなく廃棄物として扱われ廃棄物処理法の対象となるため、その最終処理責任は市にあることになり、市はそのような場合を想定して空き缶の回収場所を提供する必要があります。

以上のことから、リサイクルに関する回収等に関して、全てを民間に任せることは難しいと考えます。

委 員

資源ごみの収集について、特典等を与えることで回収率が上がるのではないかと。

環境課

大型スーパー等では既にポイント制を採用するなどしておりますが、市ではあくまでもごみステーションに廃棄物として出していただいた物を回収して、それをリサイクルしている状況ですので難しいと考えます。

委 員

旧村上市以外の地域では紙の日として、雑紙と新聞紙等を一日で出せるようにしているところもあり、ごみを出しやすい環境作りのために、そのようなことの検討をしていただきたい。

また、アルミ缶、スチール缶の収集方法が地域によって違っており、よりコストの掛からない効率的なやり方を検討していただき、統一を図っていただきたい。

環境課

紙ゴミについて、旧村上市でも以前は全ての種類の紙ゴミを一日で出せるようにしていたのですが、その際に、一部マナーの悪い方が回収時間を過ぎてゴミを出すため、業者が同じステーションに何度も回収に行かなければならない事例が相当数あり、それを防止するために種類を分けた経緯がありました。

また、アルミ缶とスチール缶を分別して出している地域と一緒に出している地域があることについては、収集後にアルミとスチールを分けることができる自動選別機がありますので、今後はアルミ缶とスチール缶を分別しないで合わせて出せるように調整し、統一を図っていきたいと考えております。

委員

各地域ごとに委託業者の単価は異なりますか。

環境課

各地域で地理的な条件や人口密度等が違うため単価は違いますが、1日1台の車両単価を定めてその金額で委託料を算出しております。

委員

そうすると、条件によって単価の低い地域と高い地域があると思いますが、単価の低い地域を高い地域にあわせて高く設定しているといったことはありませんか。

環境課

そういったことはありませんが、合併前の単価や収集回数等そのまま委託料が算出されておりますので、今後は、地理的条件、収集区域及び回数等を見直し、委託料の統一も含めて検討していきます。

委員

急速に少子高齢化が進んでおり、現在は比較的高齢化率の高い地域とそうでない地域がありますが、それを踏まえた将来的なごみ収集のあり方についてどのような進めていく予定ですか。

環境課

現在は、地理的条件、収集区域及び回数等を見直して、地域間のばらつきをなくすために調整している段階であり、少子高齢化に向けた対策はとれていない状況です。

委員

特に山北地域では急激に少子高齢化が進んでおりますので、自分でゴミを分別して出そうと思っても体が不自由で中々出せない、ボランティアに頼りたくてもいないといった事案が発生する可能性が高いと思いますので、今すぐではないかもしれませんが将来的にそのような地域がでてくると思うので、その辺の検討を早めに進めていただきたいと思います。

環境課

喫緊の課題として他の自治体の取り組み等を参考にしながら、より良い制度設計となるように検討していきたいと思います。

会 長

時間になりましたので、質疑応答を終了します。お疲れ様でした。

【評価協議】

○各視点による評価

視点	評価	評価項目	評価
妥当性	A	自治体関与の妥当性	3
		目的の妥当性	3
		対象（受益者）の妥当性	3
有効性	B	目標（改善）達成度	1
		類似事業の存在	3
		上位施策への貢献度	2
効率性	C	コスト効率	1
		実施主体の適正性	2
		負担割合の適正性	2

○総合評価

総合評価	C	説明	<ul style="list-style-type: none">・目標に対して実績が大きく下回っており、取組みに問題があるのか、目標値を見直す必要があるのか、検証する必要がある。・合併時から、委託料やゴミ袋の料金の見直しがされておらず、適正な設定であるか検証が必要である。・民間企業の取り組みと連携し、より効果的、効率的な進め方を検討すべきである。
------	---	----	--

○今後の方向性：協働化（コスト縮小、成果拡大）

【意見】

- ・市民にごみの分別や減量化を浸透させるには、3Rの考え方と分別することによる効果等について、市民から理解を得るよう継続的に周知が必要である。
- ・缶類や紙類の分別を促すためには、缶類の収集日を統一することや、紙紐を使わず紙袋（箱）等でまとめて出す方法など、より市民が出しやすい方法を検討すべきである。
- ・収集業者への委託については、地理的条件や回数等を考慮し適正な委託料を設定し、地区ごとの収集回数についても、費用対効果を見極めながら、目標年次を定めて統一に向け検討すべきである。
- ・資源ごみの収集については、全て市が実施するのではなく、民間企業の取り組みと連携しながら、より効率的な方法を検討すべきである。

②あらかわ病児保育センターの指定管理 【福祉課】

- ・担当課（福祉課）による事業・評価理由説明

【質疑応答】

委員

10月末までの施設利用者が130人ということで、一日平均すると約1名の利用となっておりますが、現在は何人の施設職員を配置していますか。

また、施設の定員が1日4名で、今後利用が増えることも想定されますが、どのような対応を考えていますか。

福祉課

施設職員については、看護師1名、保育士1名、事務員1名を配置しております。なお、保育士については、10月1日より1名増員し2名配置しております。

また、現在は定員を4名としておりますが、今後の方向性については利用の状況等を観ながら協議・検討を行っていかねばいけないと考えております。

委員

坂町病院小児科がすぐ近くにあることのメリットや病院の先生とどのように関わっていくのか教えてください。

福祉課

現状として、坂町病院の小児科を受診してから、あらかわ病児保育センターを利用している方が約半数いらっしゃいます。かかりつけの病院に併設されていることで利用者にとっても利用しやすい環境となっていると考えております。

委員

関川村の財政的な負担割合を教えてください。

福祉課

あらかわ病児保育センターにおける指定管理料から使用料を差し引いた額の5%を均等割として村上市と関川村で折半し負担していただき、残りの95%については利用者人数割合にて負担額を決定します。

委員

病児保育センターについては、とても良い制度であると思うが、現状では山北地区からの利用がない状況であり、荒川地区以外にも整備する計画はありますか。

福祉課

山北地区については昨年、保育園等の施設整備計画を策定いたしました。その中で、保育園や病児保育センターについても計画的に整備していくと明記されております。山北地区においては、開設に向けて医療機関等に声がけをしている状況であり、可能であれば5年間の計画期間中に整備を行いたいと考えております。

また、村上地区においても、平成32年10月に開院を予定しております村上総合病院の移転新築事業に合わせて、病児保育センターを整備しようということで計画を進めております。

委員

是非、良い制度だと思うので、全市民が利用しやすい環境を整備していただきたい。

委員

私も、非常にいい制度であると思っており、なるべく早期に市内全域でこのサービスが受けられるように整備を進めていただきたいと考えております。そのためにも整備費等のコストを抑えることが必要であり、現在は病院外に整備しております病児保育センターを、病院内に整備することも1つの手段として検討する必要があるのではないかと。病院内であれば、必要な時間に必要な人数だけを派遣し、看護や保育を行うことも考えられ、人件費の削減にも繋がるのではないかと。できるだけ早く整備するために、このようなことが法的に可能かどうかも含めて調整・検討していただきたい。

福祉課

あらかわ病児保育センターについても、病院内に設置することができないか調整を行ったが、衛生面等の理由から断念した経緯がありました。

委員

では、病院の脇に併設する理由はなんですか。

福祉課

坂町病院には協力医としてお願いしており、症状が急変した時にすぐに対応していただけるという利点があると考えております。

委員

村上総合病院も別棟で併設する予定ですか。

福祉課

病院の脇に併設する計画で進めております。

委員

逆に、病院近くでなければこの施設の設置は難しいということですか。

福祉課

症状が急変した時の連携等を考えると、やはり小児科のある病院や診療所の脇が望ましいと考えております。新潟市等の病児保育センターでも、やはり病院等の脇や内部に設置し、一体となって運営を行っています。

委員

新潟市等では、民間が主体となって運営を行っている施設もあるのですか。

福祉課

新潟市内では、病院等が主体となって運営を行っている施設が多くあります。

委 員

村上市内においても、病院等にもう少し働きかけを行って、民間に運営をお願いした方が良いのではないですか。

委 員

新潟市の例で病院が主体となっていて行っている場合の人件費について、例えば利用者がいなかった日は固定費として支払いがありますか。病院が主体となればそのような場合の人件費について、圧縮することができるのではありませんか。

福祉課

新潟市の例では、新潟市から病院が委託や補助を受けて運営していますが、人件費等の支払い方法については把握しておりません。

委 員

医療機関が実施している場合は、空いている医師や看護師がその事業に携わった時間分だけ市に請求するようなやり方をすることが出来るのではありませんか。

福祉課

病院を何カ所か回りましたが、柏崎市では、年間の委託料と補助金の額を定めて支出しています。なお、個人の診療所では同一施設内でコンパクトに行っており、新潟市の病院では併設して実施しています。

委 員

診療所では中で行っているとのことですが、病院で外に設置して運営を行う場合とやり方が違うのですか。

福祉課

運営の仕方は同じです。

委 員

1つの建物の中でも運営は出来るということですか。

福祉課

運営はできますが、新潟市内の病院については別棟で病児保育事業を行っております。

委 員

病児保育センターの利用者は、かかりつけ医に預けられれば安心だと思います。

また、登録や利用連絡票が必要であるとのことで、少し億劫に感じて利用を控える方や、こんな良い制度があるなら是非利用したいと感じる方もおり両極端だと思います。

福祉課

ひとり親の方もいらっしゃいますので、そのような方からは「誰にも看てもらえないのでとてもありがたい」といった意見も頂いております。

委員

個人病院が委託を受けて病児保育センターの運営を行う場合に保育士や看護師は兼任できますか。それとも固定の方を必ず置かなければならないのですか。

福祉課

保育士は、概ね3人に対して1人ということで決まっておりますので、別棟にあったとしても保育士は別にいなければなりません。

委員

そうすると、病院の中であっても外に設置されていても、行ったり来たりの兼任で効率よく運営することはできないということですか。

福祉課

新潟市で実際に運営を行っている施設に行き行って聞いたんですが、感染症対策がとれなくなるので、行ったり来たりすることは難しいとのことでした。

委員

登録者数が101名ということで少ないように感じますが、それを促すための広報や取り組みの状況を教えてください。また、登録料は発生しますか。

福祉課

登録に際しては、無料になります。また、広報について、開設当初に各保育園にチラシを配らせてもらい、当初の登録者数は順調に伸びておりましたが、最近はあまり増えていない現状です。

最近の取り組みは、各保育園や学校を挨拶もかねてもう一度訪問し施設の説明をさせていただきました。今後の登録者数については、経過を見たいと思います。

委員

登録者数が伸び悩んでいる原因は何ですか。

福祉課

元々10月頃は感染症の流行が少ないということもあるかと思えますし、施設の認知度があまり上がらなかったのかなと感じております。今後、12月、1月とインフルエンザの流行期ですので、今回の訪問で登録者数が増えるのではないかなと思っております。

委員

登録については、何回もできるのですか。

福祉課

登録については、毎年、年1回行って頂く必要があります。

委員

坂町病院は、毎日小児科の診察をしているかわかりますか。

福祉課

毎日診察しています。

委員

やはりかかりつけ医の脇にこのような施設があると利用しやすいと思うので、是非他の地区にも整備して環境を整えていただきたい。

委員

今まで運営を行ってきて、担当者として「こうなればもっと良くなるのにな」とか利用者からの要望等ありましたか。

福祉課

開所時間が8:00からということで、働いている方からすると「遅い」という意見は数件ありました。また、夕方は18:00までであるため「もう少し延ばすことは出来ないか」といった意見もありました。

委員

時間の設定や土曜日の取扱いについても、民間にあわせる形で柔軟な運営が必要であると思うので検討をお願いしたい。

委員

定員が4名とのことですが、それを上回る利用申請があったことはありますか。

福祉課

これまでの運営期間で、4名受け入れた日が7日、そのうち4名を上回る申請が2日ありました。

委員

4名を上回る場合は、お断りをするのですか。

福祉課

4名を上回る受入が出来ないので、その時はお断りをさせていただきました。

委員

受入については、早い者順ですか。

福祉課

基本的にはそうなります。

会長

他にありませんか。ないようであれば質疑を終了します。お疲れ様でした。

【評価協議】

○各視点による評価

視点	評価	評価項目	評価
妥当性	C	自治体関与の妥当性	2
		目的の妥当性	3
		対象（受益者）の妥当性	2
有効性	C	目標（改善）達成度	2
		類似事業の存在	3
		上位施策への貢献度	1
効率性	B	コスト効率	3
		実施主体の適正性	2
		負担割合の適正性	3

○総合評価

総合評価	C	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・医療法人等が実施主体となることで、人員配置や緊急時の対応など、より効率的な事業運営ができないか検討の余地がある。 ・学童保育所や保育園と、対象年齢や開所時間を合わせることでより使いやすい施設にすべきである。 ・施設から遠方の市民は利用がしづらく、市全体から見ればサービスは不足している。
------	---	----	--

○今後の方向性：拡大基調（コスト拡大、成果拡充）

【意見】

- ・子育て支援の充実のため必要なサービスであるが、現状では荒川地区周辺の利用者がほとんどであり、全地区で利用しやすい環境整備が必要である。
- ・病児保育センターの利用対象者を、学童保育所の利用対象者と合わせるとともに、開所時間、開所日についても、保育園や学童保育所と合わせ利便性の向上を図る必要がある。
- ・病児保育センターの運営について、病院内の施設利用や病院職員との兼務、医療機関との連携強化により効率的に運営するため、市以外の医療法人等が事業主体となることについて検討が必要である。

7 次回の日程について

日 時 平成29年12月18日（月） 午後3時30分～
会 場 村上市役所 4階 大会議室

8 その他

9 閉 会 （17：00）